

【資料紹介】

昭和二十七年十二月「蘇峰先生回顧展出陳目録」

鈴木 元

これまで水俣市立蘇峰記念館、水俣市立図書館のご厚意により、学生とともに収蔵資料の調査を行ってきた。調査を進める中で、現「蘇峰記念館」の前身である「淇水文庫」の変遷を調べておく必要性を強く感じるようになった。とはいえ、文庫の開館は昭和五年のこと。「蘇峰記念館」として装いを改めたのが、昭和五十八年。開館当初のことを知る者はなくとも、「文庫」時代を知る者は決して少なくはない。しかし、多くの情報が記憶だけを頼りとして継承されるというのは、はなはだ心許ない。

そこで、幸いに水俣市立図書館において淇水文庫関係資料を調査する中で、目にすることを得たもののうち、文庫としての活動が時代の息吹とともに感じられる記録を、ここで紹介しておこうと思う。標題にも掲げた、昭和二十七年十二月の蘇峰回顧の展示目録である。展示は銀丁百貨店で開催されたもので、同店は前年の十月に新市街に再建さ

れ戦後の再開を果たしたばかりであった。二十七年には市内に鶴屋百貨店、太陽百貨店が相次いで開店し、熊本は三大デパート時代に入ることとなる（『新熊本市史 通史編 第八巻 現代Ⅰ』）。そうした時代的雰囲気の中で催しであった。

目録は謄写版印刷。目録末尾に記された付記によると、この回顧展の企画は大日本雄弁会講談社の主催になるもので、同社からはこの年、蘇峰の卒寿記念として『読書九十年』も刊行されている。講談社からの資料貸与の依頼に淇水文庫が応じ、そこからこの目録が作成されたことが判る。印刷部数は三十部というのであるから、まったくの内部資料として作られたものと見てよい。簡にして要を得た目録で、本に添えられた蘇峰識語まで丁寧に記録されており、充実した目録といえよう。あるいは、これをもとに一般配布用の目録が活字で印刷されたか。

凡例

一、水俣市立図書館蔵の「蘇峰先生回顧展出陳目録」を、可能な限りもとの形態を残すように示したが、改行など

一、頁ごとに「」を付した。

は部分的に改めた箇所がある。

一、文字も可能な範囲でもとの資料の用字を残した。

昭和二十七年十二月

(於熊本市銀丁デパート)

蘇峰先生回顧展出陳目録

水俣市立
淇水
文庫

自由道徳及儒教主義 明治一七・一二 四六判一〇三頁 仮

明治廿三年以後の政治家の資格を論ず 明一八・三 四六判 三五丁 仮

第十九世紀日本の青年及其教育 明一八・七 四六判一四四頁 仮

将来の日本 明二〇・二 再版 経済雜誌社 四六判二三一頁 仮

新日本の青年 明二四・九 六版 民友社版 四六版一四八頁 仮

日本国防論 明二三・一一・二六 再版 四六判一四三頁 仮

大日本膨脹論 明二七・二・二六 再版 菊半截一六六頁 仮

是書予著作中罕観之一 須珍重護持也 昭廿一・八・二四 頑蘇八十 印

頼山陽及其時代 山路愛山 森田思軒共著 十二文豪の内第十一卷

明三一・五・一〇 初版 四六版五八九頁 仮

七十八日遊記 特製本 明三九・一一・三 半紙判三四八頁 和紙 和装 帙入

特製三〇〇部の内第一一七号

著者題詩本 随縁随業復奚疑 苦雨凄風彼一時 問著先生渾不語 斯心白日青天知
著者題辭本 是書何人に与へたるかを詳にせず 但た予が手を離れたるは明治四十
年五月廿九日にして予が四十五才の時なりき 太平洋を渡りて米国に赴き 更に米
國より太平洋を渡りて日本に 而して昭和十七年五月初旬神田古書肆に於て重ねて
予の手に帰す 仍りて之を洪水文庫に寄贈して永久保存を託す

昭和十七年五月十一日 於民友社 老蘇八十叟 印 印

JOHN HOWELL IMPORTER SAN FRANCISCO 〇

ラベルあり

吉田松陰 並製本 明治廿六・一二・二三 初版 四六判三四〇頁 仮

吉田松陰 昭四・四・二〇 三七版 四六判四九四頁

吉田松陰 昭八・二〇・一〇 改版一〇六版四九四頁

吉田松陰 昭一七・二・一一 改版二七版 三三四頁

吉田松陰 明四二・一・一五 五版 菊版四九四頁

吉田松陰 明四一・二〇・一〇 菊判四九四頁 和紙和装帙入

特別刊行二〇〇部の内第一四〇号

著者署名贈呈本 岳瀨仁兄大人惠存 著者 [印] 大正丙寅六月念六

是書一七年を隔て、重ねて予の手に帰す 仍りて之を淇水文庫に托し永遠に秘襲せし

む 老蘇八十叟 [印] 昭和一七・五・一一 於民友社

吉田松陰 乃木大將朱批 半紙二八頁

著者題辭本 是実大將校閲校合本也 卷中朱批悉皆大將真蹟而付圈点於欄外者実出于

欽賞翼賛之餘云尔 大正二年九月十三日夕 大將自刃之一年期 蘇峰生

偶驗旧麓獲此焉 乃加標紙永存乃木大將之手痕 大正二年九月十三日夕

大將殉死之一週年 蘇峰敬録

昭和十九年三月念二 割愛以贈 淇水文庫 老蘇八十二 [印]

政治家としての桂公 大二・一一・一五 菊判二六五頁 布装

著者題辭本 不勝今昔之感也 昭和一九・三・一一 老蘇八十二 [印]

時務一家言 並製本 大二・二二・二二 初版 菊判五〇二頁 紙装

著者署名贈呈本 淇水老大入膝下 大二・二二・二二 蘇峰謹呈

先考手沢感愴曷勝 老蘇八十二

時務一家言 大四・七・三 二五版 四六判二五五頁 布装

時務一家言 縮刷版 大一〇・二〇・一〇 二三版 三五判四〇〇頁 布装

山水随縁記 特製本 大三・一一・一〇 菊判二五〇頁 和装帙入 百穗装並画

限定二〇〇部之内第四〇号 蘇峰・百穂先生署名入

著者署名惠贈本 無佛大人清留

是書は親友阿部無佛翁に呈したるもの 同翁帰幽后入札に付せらるゝや 予之を購
求し淇水文庫に納む 是書の希本たる勿論也 昭和十一年二月念七

東京 民友社に於て 蘇峰七十四翁 印 印

世界の交局 上製本 大四・五・一 三版 菊判 五二三頁 布装 天金

世界の交局 特製本 大四・七・五 七版 菊判 五二三頁 総革 天金

両京去留誌 上製本 大四・九・一五 四六判二七四頁 布装 天金

蘇峰文選 上製本 大四・三・二五 八版 菊判一四三三頁 布装 天金

特製本 大四・一一・二五 菊判一四三三頁 総革

大正政局史論 大四・四・五 四版 菊判四〇三頁 布装天金

大正の青年と帝国の前途 特製本 大四・一〇・二八 菊判六八〇頁 付録四三頁

総革天金 五〇〇部限定本

大正の青年と帝国の前途 上製本 大四・一〇・二八 菊判六八〇頁 布装 天金

大正の青年と帝国の前途 並製本 大四・七・一 一〇四版 四六判四六五頁 紙装

大正の青年と帝国の前途 上製本 大四・一一・一 初版 三六判五九七頁 布装

公爵桂太郎伝 二冊 桂公爵記念事業會 大六・二・二五 菊判 布装

蘇峰詩草 活版本 大六・六・二〇 半紙判和装三十五丁 二〇〇部限定

蘇峰詩草 古活字本 大一〇・七 美濃判和装六十七丁 二〇〇部限定本

山田聖華房植字摺印

蘇峰詩草 古木活字本縮刷版 大一・一・六・一 半紙本和装六十七丁 二〇〇部限定

蘇峰詩草 手寫本 石橋豊次郎 半紙本 和装 六十七丁

蘇峰詩草 自筆稿本

半紙本 和装 三十九丁

杜甫と弥耳敦 特製本

大六・九・一三 菊判七八〇頁 総革天金

限定三〇〇部の内第一〇〇号

志那漫遊記 上製本

大七・七・二〇 三版 四六版五五六頁

大戦後の世界と日本 上製本

大九・一〇・一 菊判七七五頁 布装 天金

大戦後の世界と日本 並製本

大九・一〇・七 三版 四六判七七五頁 紙装

国民自覚論

大一一・三・二七 四六判一六一頁

家庭小訓 改訂版

昭和二・二・一〇 四三版 菊判一三一頁 仮

処世小訓 改訂版

昭和四・二・二五 三九版 菊判一三五頁 仮

蘇峰文拔萃 精神の復興

昭和二・三・一 十一版 四六判五一六頁

政界の革新

大一一・三・三一 菊半截判一三六頁 仮

烟霞勝遊記 上巻

大一一・三・二〇 四六判三九四頁 布装天金

烟霞勝遊記 下巻

大正一一・三・九・一〇 四六判三七八頁 布装天金

大和民族の醒覚 上製

大一一・三・七・三〇 三版 四六判二五七頁 紙装

大和民族の醒覚 並製

昭和三・八・一 改版六版 四六判二五七頁 仮

静思余録

大一一・五・四・一〇 三版 三六判二九四頁 布装

国民小訓

大一一・四・二・一四 四版 菊判一五六頁付録六四頁 仮

国民小訓 縮刷版

昭和四・四・二〇 六十二版 四六判一九〇頁 仮

増補 国民小訓

昭和八・一〇・五 菊判一九四頁付録六六頁 仮

増補 国民小訓 特製本

昭和八・一〇・五 菊判一九四頁付録六六頁 布装

著者敬贈本 司書中野 晋君の懇望によりて贈 淇水文庫 老蘇八十二学叟 印

国民小訓字解 大一・五・六・一五 三版 三六判 一一六頁 仮

増補 国民小訓の刊行に就て 昭八・二〇・二四 菊判二二頁 仮

蘇峰隨筆 大一・四・一一・一〇 五版 四六判四四二頁 布装

第二蘇峰隨筆 大一・四・一二・一五 四六判四四〇頁

三十七八年役と外交 大一・五・二・一 六版 四六判一二二頁 布装

第一人物隨録 大一・五・五・一 四六判四六〇頁 布装

野史亭独語 大一・五・七・二五 再版 四六判三八四頁 布装

婦人の新教養 主婦之友社版 大一・五・一〇・一八 三版 四六判二三〇頁 布装

頼 山陽 昭二・二・二五 六版 菊判四一五頁付録一三四頁 布装

西郷南州先生 昭二・三・一 十七版 四六判八八頁

昭和一新論 昭四・二・二五 十八版 菊判一四二頁 仮

昭和一新論 縮刷版 昭三・二・二・一 十八版 四六判一二八頁

大久保甲東先生 昭二・一〇・一二 四六判四七八頁 布装

日本名婦伝 主婦之友社版 昭三・三・三〇 四六判 一九五頁

維新回天の偉業に於ける水戸の功績 昭三・五・五 四六判 五〇頁

中庸の道 昭三・五・二五 四六判一一二頁 仮

木戸松菊先生 昭三・二・二・一八 四六判八六頁 仮

夫婦の道 主婦之友社版 昭三・二・二・二五 再版 四六判一二〇頁 布装

赤穂義士観 昭四・三・九 三版 四六判一一八頁

維新回天史の一面 昭四・五・一〇 菊判四五七頁 付録五六頁 天金

土佐の勤王 昭四・六・二九 四六判八八頁 仮

台湾遊記

昭四・七・五

四六判二四四頁 紙装

日本帝国の一転機

昭四・九・二五

菊判二二〇頁 仮

素空山縣公傳

山県公伝記編纂會版 昭四・九・二四

菊判七一六頁付録六四頁 布装

時勢と人物

昭四・一〇・一八

四六判四〇六頁 仮

人間界と自然界

昭四・一一・二〇

四六判七二〇頁 布装

生活と書籍

昭五・一・一

四六判四八三頁 仮

老記者叢話

昭五・三・二一

四六判三七六頁 仮

歴史の興味

昭五・二・一五

四六判三六四頁 仮

時代と女性

昭五・五・一八

四六判二五〇頁 布装

徳富蘇峰集

特製本

改造社版

昭五・八・一五

菊判五八二頁 布装 天金

徳富蘇峰集

並製本 全

現代日本文学全集第四編

景仰と自省

昭五・九・二一

四六判四二三頁 布装

修史餘課

昭六・一・二〇

四六判四〇六頁 布装

書窓雜記

昭五・二・二四

四六判四三二頁 布装

持身小訓

昭六・二・二一

菊判一〇四頁

奉公小訓

昭六・二・二二

菊判一〇六頁 仮

現代日本と世界の動き

昭六・五・二〇

四六判四〇四頁 布装

人さまざま

昭和六・六・二二

四六判五七四頁 布装

卓上小話

昭和六・九・二〇

四六判四〇八頁 布装

悠々我思

徳富太多雄氏記念誌

昭六・一〇・九

四六判二〇頁 仮

わが母

昭六・二・二一

四六判二二八頁 仮

わが母 原稿本

美濃判 上下二冊映入

著者署名 昭和五年六十八才手稿 頑蘇八十五 印

人間山陽と史家山陽

昭七・三・二〇 菊判二二〇頁 布装

史境遍歴

昭七・九・二五 四六判四〇〇頁 布装

岩倉具視公 岩倉具視公旧蹟保存会版 昭七・五・一〇 菊判二九四頁 仮

読書人と山水

昭七・八・二五 四六判四一〇頁 布装

大事小事

昭七・一〇・二八 四六判四一〇頁 布装

明治天皇の御聖徳

昭七・一〇・一 四六判九二頁 仮

典籍清話

昭七・二・二一〇 四六判四三三頁 布装

勝 海舟傳 偉人伝全集第七卷 改造社版 昭七・二・一九 四六判三七六頁 仮

公爵山県有朋伝 三冊 山県公記念事業会版 昭八・二・一 菊判 布装 天金

東西史論

昭八・二・五 四六判五三五頁 布装

愛国読本 八重樫祈美編 野ばら社刊 昭八・三・二〇 菊判一三三頁 布装

蘇峰隨筆 愛書五十年 ブックダム社版 昭八・四・一 菊判四六二頁 布装 天金

限定壱千五部の内第八二九号

欧州現代史の暗流

昭八・五・二五 四六判三三二頁 布装

徳富蘇峰 成實堂閑記 上製本 書物展望社版 昭八・二・二一〇 新菊判四〇三頁

和・鮮・洋古書零葉貼交支那木綿装 天金 齊藤昌三装

限定壱千部の内第四五五号

聖徳景仰

昭九・六・三〇 四六判二〇八頁 布装

明治維新の大業

昭和一〇・二・二一 四六判一八九頁 布装

四時佳興

昭和一〇・五・三〇 四六判三六〇頁 布装

松方正義伝 公爵松方正義伝記発行所版 昭一〇・七・二 菊判 布装 天金 乾坤二冊

蘇峰自傳 並製本 中央公論社版 昭一〇・九・一二 三十版 四六判七一六頁 布装

蘇峰自傳 特製本 中央公論社版 昭一〇・九・二一 菊判七一六頁 背革 布装 天金

限定三〇〇部の内第二〇〇号

蘇峰自傳 校訂本 三冊

菊判 帙入

著者贈呈本 兩耳如聾口如啞 等閑觸著火星飛 是無學祖元和上之句飯來冠干自伝

卷首 于時昭和十一稔五月初一 為東香女史 蘇峰七十四 印

距當時八年一ヶ月歲月如飛電 人生如草露嗟夫 昭和十九年五月卅一 老蘇八十二

今后予に関する著作幾許出て来るも此の一書を以て定本と為すべし 評論は各人の

意に一任す 然も事實は此書を以て確實と認む 此書予の口授を東香秘書筆受し

更に予親ら校訂したるもの 今之を淇水文庫に贈するに際し一言を誌す

尚本書中遺漏少からず 更に修補せんと欲するも東香秘書逝き而して予亦老矣 語

に曰く或物は皆無に優ると 仍りて之を淇水文庫に蔵し永、自伝の原本として来者

の批判を俟つ 昭和十九年五月初一 於晚晴艸堂 老蘇八十二 印 印

三条実萬公 三条実美公 梨木神社鎮座五十年記念祭奉賛會版 昭一〇・九・二五

菊判三三四頁 仮

日本精神と新島精神 関谷書店版 昭一一・二・二〇 四六判四二頁 付録一六四頁 布

史論新集 昭一一・四・五 四六判四二四頁 布装

我等の日本精神 昭一一・九・一五 再版 四六判三五六頁 紙装

蘇翁言志録 昭一一・二・二七 五二×四二判二九一頁 布装

漢籍を語る 大東出版社版 昭一二・一・一八 四六判一八四頁外宇野哲人著

思想を觀る 二二二頁を併せ支那哲学総論一冊と為す 布装

- 老記者の旅 昭一・二・五・二五 四六判三五二頁 背布紙装
 現代女性訓 昭一・二・七・一〇 四六判二五八頁 布装
 維新史に於ける会津 会津蘇峰會版 昭一・二・一〇・八 菊判三四頁 仮
 蘇峰百絶 草木屋出版部版 昭一・二・一・一・三 四六判五十丁 月明紙刷
 木活二号型手刷 草木染月明織絹綉装 限定巻百部の内九十七号
 著者署名本 蘇峰七十五隻 印
 蘇峰百絶 縮刷版 草木屋出版部版 昭一・三・一〇・一五 菊判一〇〇頁 月明紙刷
 戦時概言 昭一・二・一・二・五 四六判二九四頁 仮
 我が交友録 中央公論社版 昭一・三・三・六 四六判三三三頁 紙・布装
 天然と人間 昭一・三・七・二五 三六判三一六頁 絹装
 昭和国民読本 東日・大毎社版 昭一・四・二・一 菊判三〇二頁
 人物景観 昭一・四・九・二〇 四六判三三六頁 背布紙装
 満州建国読本 日本電報通信社版 昭一・五・二・一 一 A5判二九六頁 仮
 鵲影留痕 並製本 蘇峰會朝鮮支部版 昭一・五・五・二八 半紙判二十四丁
 詔書奉戴 日独伊三国同盟一周年 日独伊親善協會版 昭一・六・九・一五 B6判三三二頁
 皇国日本の大道 明治書院 昭一・六・一〇・一五 A5判二七七頁 仮
 日本を知れ 東日大毎社版 昭一・六・二・一・五 B6判一八三頁 仮
 宣戦の大詔 東日大毎社版 昭一・七・三・八 B6判二〇九頁 仮
 興亜の大義 昭一・七・九・二五 B6判三三三頁
 陸軍大將川上操六 第一公論社版 昭一・七・二・一・五 A5判二五六頁 布装
 必勝国民読本 毎日新聞社版 昭一・九・二・一 一 B6判一九四頁 仮 五〇万部刊行
 皇国必勝論 昭一・九・二・二八 B6判二七六頁

不二八十首 草木屋版

昭一七・三・二五 和装 A5判八〇頁

蘇峰先生八十賀春記念

限定一〇〇部の内第十二号

蘇翁感銘録 宝雲社版

昭一九・一・二五 A5判三四一頁 仮

敗戦学校

昭二三・七・一五 B6判一九三頁 仮

国史隨想

昭二三・二・一〇 B6判二七一頁 仮

世界の二大詩人

昭二四・四・一五 B6判六〇〇頁 紙装

小祥忌 徳富静子夫人記念誌

昭二四・一・一七 B6判一八頁 仮

残夢百首 草木屋版

昭二五・七・二五 A5判五二頁

限定壹百部の内第三七号

蘇峰先生言志 竝幽居詠懷

壽康會版 昭二三・三・一五 B6判一六頁 仮

限定參百部の内

八十七誕辰自述 塩崎彦市編

昭二四・三・一五 B6判二七頁 仮

限定參百部の内

徳富蘇峰翁と病床の婦人秘書

志村文蔵編 野ばら社版 昭和二四・九・二五 紙装

B6判一八四頁

勝利者の悲哀 講談社刊

昭二七・九・一〇 B6判一四八頁 紙装

読書九十年 特製本

昭二七・九・二五 A5判二八九頁 布装

著者署名本 蘇叟九十

印

読書九十年 並製本

昭和二七・九・二五 A5判二八九頁 紙装

近世日本国民史 上製本

菊判六十九冊

近世日本国民史 並製本

四六判七十四冊

国民の友 二十七冊

明治二〇・二至明三二・八 菊判 布装

国民叢書 三十六冊 欠一冊 自明治廿四年六月至大正二年八月 菊半裁判 仮

進歩乎退歩乎 明四一・二・一 八版

人物管見 明三二・一・一〇 九版

青年と教育 明四五・七・一二 十四版

静思余録 明二六・五・一 初版

第二静思余録 明三三・一・〇・五 十三版

文学断片 明二九・四・二五 九版

天然と人 明四〇・六・一 十六版

第二天然と人 明四〇・六・一〇 三版

第三天然と人 明四三・二・二・一一 二版

風雲漫録 明三一・八・二〇 七版

家庭小訓 明二九・二・二 初版

経世小録 上下 明三五・一・二五 四版

单刀直入録 明三一・六・一一 初版

寸鉄集 明三一・七・一八 初版

文学漫筆 明三一・一・一・一四 再版

漫興雜記 明三三・一・一・二〇 三版

世間と人間 明三二・九・一八 初版

社會と人物 明三二・一・一・二 初版

生活と処世 明三三・六・八 初版

人物偶評 明四五・六・七 六版

教育小言 明四五・六・五 四版

近時政局史論

明三六・六二五

再版

讀書余録

大三・一一・二五

七版

日曜講壇

明三四・二・八

三版

第二日曜講壇

明三五・六・二〇

初版

第三日曜講壇

明三九・一・二〇

六版

第四日曜講壇

明三七・五・二

初版

第五日曜講壇

明四五・五・二五

七版

第六日曜講壇

明三八・二・一三

初版

第七日曜講壇

明四〇・七・二二

三版

第八日曜講壇

明四五・一・二三

六版

第九日曜講壇

明四二・九・一五

二版

第十日曜講壇

大四・九・二三

五版

第十一日曜講壇

明四五・一・一二

二版

第十二日曜講壇

大二・一一・一五

四版

蘇峰叢書

十二冊 自昭和三年二月至昭和四年九月

四六判 仮

第一冊 皇室と国民

昭三・二・一一

二二四頁

第二冊 名山遊記

昭三・二・一一

二二〇頁

第三冊 国民と政治

昭三・四・五

二四七頁

第四冊 好書品題

昭三・四・二五

二四〇頁

第五冊 書齋感興

昭三・七・一〇

二一八頁

第六冊 人物偶録

昭三・一〇・一八

二二四頁

第七冊 閩東探勝記

昭三・一一・一〇

二二九頁

第八冊 言志小録 昭三・一二・一〇 二二三頁

第九冊 国民的教養 昭四・三・二五 二二八頁

第十冊 新聞記者と新聞 昭四・七・五 二三〇頁

第十一冊 関西遊記 昭四・九・一 二二二頁

第十二冊 讀書と散歩 昭四・九・一 二三八頁

成實堂叢書 十篇 十四冊 自大正二年五月至十一年十一月 和紙和装 限定五百部

第一篇 欠

第二篇 襟翁稗説 大二・六・八 半紙判 三二一號

第三篇 白隠和尚垂示 大二・一〇・二〇 半紙判 第一〇號

第四篇 酒餅論 大三・三・二〇 半紙判 第三號

第五篇 月江和尚録 大三・六・一〇 半紙判 第九號

第六篇 帝範臣軌 二冊 大四・七・二五 半紙判 第三五八號

第七篇 戸田左門覚書 大三・九・五 半紙判 第七號

第八篇 茂睡考 同解説 二冊 大四・二・二五 半紙判 第五號

第九篇 大梅夜話 同解説 二冊 大五・三・二五 半紙判 第三〇號

第十一篇 襟帯集 南浦文之和尚 二冊 大七・四・一〇 美濃判 第九號

第十三篇 平洲先生小語 大一・一・一三〇 美濃判 第一五八號

新成實堂叢書 五冊 自昭和六年四月至七年八月 美濃判 和紙 和装 限定三〇〇部

第一篇 聽雨紀談 昭六・四・二〇 第十三號

第二篇 絵入貧人太平記 昭六・六・二〇 第十一號

第三篇 新撰和歌論語 昭六・九・二〇 第十七號

第四篇 明恵上人臨終記 昭七・二・一 第十五號

┌

第五篇 日本書籍総目録 昭七・八・二〇 第十八号

小楠遺稿 横井時雄共編 明二二・二一・二五 菊判五三八頁 布装

洪水詩草 洪水翁古稀記念 明二四・九・五 菊判 五〇頁 仮

関係図書

蘇峰先生年譜 蘇峰先生文章報國四十年祝賀會 昭三・五・一五 和装四六判三八頁

蘇峰先生古稀祝賀 知友新稿 蘇峰先生古稀祝賀刊行會 昭六・一・一三 菊判布装

蘇峰先生古稀祝賀展覽會出陳目錄 國民教育獎勵會 昭七・三・一一 四六判五二頁 仮

蘇峰先生古稀記念帖 蘇峰先生古稀祝賀記念刊行會 昭七・七・一 菊倍判四十七丁

蘇峰先生詩書百幅帖 青山會館 巧芸社版 昭八・二・二八 和装二〇・九×六・四 百丁

金石留痕 蘇峰會 昭一八・二・二一 A4判四十七丁 和装 拓本内容説明十四頁

蘇峰先生の日常 並木仙太郎 昭和五・二・一一 四六判一二四頁 仮

最近の蘇峰先生 相沢 熙 昭一七・二・一六 B6判三〇二頁 紙装

蘇峰會誌 蘇峰會 三十七冊 昭和五年九月より昭和十九年五月に至る 菊判

全國蘇峰會大會記念寫真帖 蘇峰會都留支部 昭一二・八・一二 四六倍判一五葉 付

青山會館設立主旨書 青山會館設立事務所 大一一・二・一八 四六判四〇頁 仮

近世日本国民史 陳列書籍解題 徳富修史室 大一一・三・一八 四六判五九頁

朝鮮役資料展

新興の國民新聞 國民新聞社 大一一・三・二二 三六判二七頁 仮

英文 國民の友社刊行物案内 明二九・四 菊半截 二二頁 仮

近世日本国民史 既刊目錄 昭八・七・一 四六判 仮 二四頁

近世日本国民史 普及版 内容解説 昭和九・七 四六判五二頁 仮

近世日本国民史内容解説 名著月報一〇一号 昭和一一・二・二一〇 四六判三三頁 仮

民友社発行図書目録 昭一四・四 B6版 三三頁 仮

伊豆遊記 伊豆循環鉄道期成同盟會 昭二・二・二五 四六判 五八頁 仮

徳富蘇峰先生歡迎座談會誌 青木藤作 昭五・一・一五 四六判二四頁 仮

世界の動きと維新の教訓(恢弘第三十二号) 昭六・四 四六判六二頁 仮

日文間の連鎖としての佛教 東亜調査会版 昭一〇・二〇・二八 四六判一〇六頁

憲法発布五十年を祝して 講演通信第三八〇号 日本講演通信社版 四六判三二頁 仮

昭一三・二・二五

紀元二千六百年記念 東亜操觚者懇談會に際して 東京市 昭一五・二・八 菊判十三頁

浜 久 木 久子刀自八十賀記念 徳富健次郎共編 明四一・四・一一 菊判六六頁

宮市雑話 徳富貞甲翁自筆本影印 大正三・九 美濃横本 限定壹百部の内

隨感漫筆 淇水翁自筆本影印 大正三・八・七 半紙判 和紙和装 限定壹百部の内

五山詩僧百人一首 明治四二・二・一 半紙判 和紙和装 限定參百部の内第七号

元田先生進講録 明四三・一・一五 菊判二〇〇頁 布装

増補 元田先生進講録 昭和九・六・二五 菊判二〇〇頁 付録四五頁

元田先生進講録 三五判一八三頁 布装

日本書紀 神代卷 二冊 大正三・二・一八 美濃判 和紙 和装

仮名貞觀政要 大正四・二・一五 再版 菊判三五四頁 仮

頼山陽書翰集 二冊 木寄愛吉 光吉元次郎共編 昭二・七・一 菊判 布装 天金

上卷八〇八頁 下卷九九〇頁

頼山陽書翰集 続篇 木崎愛吉共編 昭四・九・五 菊判六六〇頁 布装 天金

引決外典鈔 五冊 西東書房複製 昭三・二・一七 八・〇×五・〇 牒帖本綴三冊

並唐本仕立二冊帙入三百部限定本

小楠堂詩草 昭四・五・二二 半紙判 和紙 和装 三〇〇部限定本

山陽先生朱批細香女史詩稿 二冊 昭三・九・三 八・三×五・二 唐本仕立付録共二冊帙入
三百部限定本

成篋堂善本書目 蘇峰先生古稀祝賀記念刊行会版 昭七・五・二六 菊判四〇二頁 布装

天金 三百部限定本

成篋堂善本書影七十種 右全 昭七・五・二六 菊判図版七十枚並目錄一冊たとう入
二百部限定

成篋堂古文書目録 蘇峰先生文章報国五十年祝賀會版 昭一・一・一一・三〇 菊判四三二

頁 布装天金 三百部限定本

成篋堂古文書書影百種 右全 菊判図版一〇〇枚 目錄共 限定三百部

蘇峰先生著作五十選 右全 昭一・一・一一・五 四六倍判絹装 天金 川端竜子装幀

JAPANESE-AMERICAN RELATIONS

Translated by Sukesihge Yanagiwara 大戦後の世界と日本抄訳 一九二二年

米國マクミラン コムパニー 四六判二〇七頁 布装 カバー付

独訳 昭和国民読本 小池堅治訳 昭一四・一〇・一五 丸善版 菊判二二二頁 紙装

鮮訳 昭和国民読本 崔昶益訳 昭一五・三・一五 国民精神総動員朝鮮聯盟版
四六判二六四頁 仮

英訳 宣戦の大詔 東日大毎版 昭一七・二・二五 B6判一二九頁

梨木神社祭神三条両公御事蹟に就て 梨木神社鎮座五十年記念奉賛會版 四六判三一頁
昭一・四・五

東亜の光 青山会館改修記念講演 青山会館版 昭一七・八・二八 A5判六一頁

明治名著集 太陽臨時増刊第十三卷第九号 卷中 新日本の青年を収める

博文館版 明四〇・六・一五 四六倍判五一頁 布装

日本精神文化大系 明治時代篇 上 其刊行会 昭和一三・二・一一 菊判五七一頁 布

卷中 新日本の青年を収める

徳富蘇峰号 中央公論第廿三年第六号 通卷第二三二一号 明四一・六・一

蘇峰先生金婚寿言集 東 繁穂 昭八・二・三〇 和装 中本 帙入

山陽と蘇峰 安藤徳器 言海書房 昭和一〇・一〇・一五 四六判二六五頁 仮

蘇峰先生と山中湖畔 山下陸奥 自筆本 昭一七・三 美濃判 三十丁 大和綴

羯南と蘇峰 川辺真蔵 三省堂 昭一八・一・二〇 B6判三六一頁 仮

蘇峰先生百絶略解 吉村勝治 昭一八・九・九 菊判 三五丁 和装

国民の友 鵜刻版 上田捨吉 大阪国友館発兌 明二〇・一・四 四六判二八五頁 仮

狂雲集 特製本 森 大狂参訂 明四二・九・一五 半紙判二七〇頁 帙入

(蘇峰先生) 署名本 是書特製式百部之内第十九号 明四二・九・廿一 蘇峰学人印

千代のひかり 国民新聞社版 明治天皇御製 皇后御歌集 明三六・四・三 美濃判廿八丁

家庭に活く 徳富蘇峰夫人 斉藤用花 教学書房 昭一八・六・二〇 B6判三一五頁

徳富静子刀自埋骨式始末 淇水文庫 昭二五・二・二七 B5判

徳富静子刀自を偲びて 髮塚世話人会 昭二七・五 B6判 二頁 仮

洛莫五十日 徳富萬熊氏記念誌 大二三・二・一四 四六判一六頁 仮

白椿 名和盛子 心の花叢書 昭六・二・二三 四六判一三四頁 平福百穂装

富士薊 全 一路会版 昭一六・三・一五 四六判二五五頁 山元桜月装

徳富久子刀自追悼式々辞 小崎弘道 美濃判十二丁

河田充子刀自略歴 福田令寿 跋 徳永 正 昭一九・四・三 和装 美濃判 廿二丁

矢島椅子伝 久布白落実 不二屋書房 昭一〇・四・五 四六判 七五三頁

湯淺初子 湯淺與三 昭一・三・三 四六判二八二頁 布裝

手 沢 本

董太子書畫真蹟 九〇×五・五 折本 是予幼學時代愛披之一 老蘇八十二 [印]

唐詩選 和裝 中本

是書德富家伝来珎籍子孫永存 大正壬戌臘月十六夕

是書予十歲未滿之時所愛誦也 尔来五十余年恒在坐右今日偶際青山艸堂退去乃携来

措于老竜庵中 大正十一年十二月十六夕 於相州逗子觀瀾亭 蘇峰学人 時歲六十

此書補綴修理於大江草舎托德永 直大叔而成焉 直大叔者予祖母季弟也

文 選 和裝 中本

是書幼時於熊本所購 尔来日夕使用距今大正四稔既四十有余年矣 後人希愛惜焉

大正乙卯四月三日 於老竜庵 猪 記

日本外史 十二冊 和裝 中本

蘇峰生幼時所誦讀之書須弥重保存也

是予於兼坂止水先生家塾藏春堂所誦讀之一也 皮紙及泐漬皆予為此書保存所弁也

巨今約四十有三年对卷不勝于感慨援筆記之云尔

大正四稔八月十九日 於老竜庵 猪

四書集註 九冊 和裝 中本 帙入

大正十一年十二月十日從青山艸堂携来措于老竜庵 此日青山艸堂書齋移轉于大森計

畧成矣 蘇峰学人 誌

四時園詩集 四冊 美濃本 映入

是書於予為珍籍 蓋四時園予幼時學習所也 大正乙卯九月十一 蘇峰記

卷末に 大正乙卯九月十一 蘇峰一読訖

明治四十年丁未二月念三 老竜菴觀瀾窓下閱畢

曾誦麒麟不適耕 即今緋帙得斯情 非仙非老還不積 瀟洒襟懷近聖清

忠烈 録 晋州城防守及陥落記事 朝鮮本 七・六×一〇・七

大正十年一月近世日本国民史編纂資料として觀瀾亭に携來 蘇峯 学人

折たく紫の記 新井白石 共三 和装 半紙判

是書明治十四五年予大江義塾生活中所愛読也 回首已四十有余年人間一生真如一夢

者歟 偶為修史資料携來于湘南野史亭 大正十二年六月初九 猪誌

日本漫遊案内 坪谷善四郎 博文館

明治三十九年一月九日西園寺内閣成立後二日遊於甲州市川十一日還 回顧明治三十

六年八月岐阜名古屋行以來以此回為地方漫遊之魁 斯書携帶得便不鮮焉

明治卅九年一月十一日午后三時 於青山艸堂

明治四十四年五月廿六日佐倉教育會に赴き更に成田に一泊 翌廿七日石川僧正を訪

ひ 成田書籍館等を觀佐原に赴き香取に詣す 夜清宮氏を訪ふ 午夜に及ぶ 翌廿

八日早天佐原より利根を航し潮來を聖大舟津に上陸鹿島に詣し 帰路根本寺に抵り

宝物を見 更に佐原に還り同日午夜兩國橋畔に著 歸家既に一時に近かりき

明治四十年五月廿九日認む 蘇峰学人識了

Book of Oratory Edward Marshall 34 × 62 500p
NEW YORK APPLETON Co. 1870

TO you my dear humble Christian friend christ's brother

God's own son was This book given by Janes.

Look aloft. your dearist friend with many wishes 1876

DICTIONARY OF THE ENGLISH LUNGUAGE WEBSTER NEW YORK

52 × 76 600P 1870

此書明治十六年夏從津田靜一氏購焉 同年七月予肩此書及摩高禮英史等遊于枋溪温
泉巨今三十有余年 大正四年一月廿二日 猪記 印

WEBSTER INTERNATIONAL DICTIONARY 三三・九・三〇 総革

十文字商会 四六倍判 二〇一一頁

大正七年三月念九從青山艸堂携来措于觀瀾亭上 此日曇天微雨春色頓催

同行者久子 直子 盛子 雀子 蘇峰学人

第四十議會閉院后初抵孝竜菴

是書雖老廢宛似千金馬骨 昭和十九 三月十二 老蘇八十二 印

DEMOCRACY IN AMERICA VOL2 DE TOCQVIELLE LONDON LONGMAN CO. 1875

第一卷見返し裏 大正丙辰九月念二欲艸曝書漫筆瞥見焉 蘇峰学人 於青山艸堂

第二卷末に

謹んで

トククウイル先生に謝す 先生の著作を一読して得る所極めて多し

而してその議論の卓絶にして且つ先生の厚意実情の溢れたるを以て読んで手を措く

能はず 予期の如くに読み畢れり 嗚呼楽哉

明治十六年六月廿九日午時半 幽竹窓処に於て 大江 学 人

了

昭和廿七年十二月七日より 熊本市銀丁デパートに於て大日本雄弁会講談社主催
蘇峰回顧展の催さるゝに当り 講談社よりその資料出陳を求めらる 依りて目録三十部
を謄写印刷に付す 昭和二十七年十一月盡